

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 053	提案機関名 農業技術センター畜産技術所
要望問題名 TMRのロールラップサイレージ化の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 牛の飼料給餌法としてTMR方式は全県に普及している。その多くは粉塵対策や混合しやすさなどの理由で水と混合している。しかし、水分が高くなると腐敗しやすくなるなどデメリットもある。そこで、保存性と輸送性を向上するTMRのロールラップサイレージ方式の検討を前年と同様に要望する。また、TMRだけでなく、静岡県浜名農協で行われているような、残さ飼料についても同様のロールラップサイレージ方式の検討についても要望する。 継続検討の状況についての回答もお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	畜産工学担当
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 TMRのロールラップサイレージ化は梱包密度が高いために保存性の向上や2次発酵の防止への効果が期待され、TMR材料として残さ飼料を保管する際にも有効と考えられます。細断型ロールペーラを利用したTMRのロールラップサイレージの調製について、所内で実演しますので参考にして下さい。 昨年度の提案に対して、県内での普及性について普及指導担当と情報交換に努めていますが、これまでのところ普及の対象となる事例が少ないと考えています。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			